

ブラジル国  
アマゾン流域  
第二トメアスー移住地案内

(自営開拓移住者)



(ピメント(胡椒)園)

(1968. 3.)

海外移住事業団

703

234

EM

LIBRARY

国際協力事業団

受入 月日 '84. 7. 27	703
登録No. 02808	23.4
	EM



## 目 次

第一 入植あっせん地区及びあっせん戸数	1
1. 入植地区	1
2. 入植あっせん戸数	1
3. あっせん範囲	1
4. 送出時期	1
第二 応募者の資格条件	1
第三 土地代及び支払条件	2
1. 面 積	2
2. 価 格	2
3. 支払条件	2
4. 造成工事	3
第四 移住の手続	3
1. 申込書類	3
2. 伯国極東選考事務所審査	3
3. 渡航手続	3
4. 移住センターへの入所及び入所中の手続	3
第五 支給金	4
1. 渡 航 費	4
2. 支 度 金	4
3. 集結旅費補助	4
第六 所要資金	4
1. 渡航手続費用	4
2. 土 地 代	4
3. 携行資金	5
4. 船中雑費	5
5. ベレン港から入植地までの諸経費	5

第七	携行荷物と荷物運賃	5
1.	携行荷物	5
2.	携行荷物運賃	6
3.	携行外貨	7
4.	上陸港までの通関	7
第八	融 資	7
第九	第二トメアスー移住地の自然条件	7
1.	位 置	7
2.	地 形	8
3.	地質と土壌	8
4.	気 候	8
5.	植生および林相	8
第十	移住地の受入施設および一般状況	9
1.	概 況	9
2.	循 生	9
3.	教 育	10
第十一	営農のすすめ方	10
第十二	生活の心構え	11
	付 表 物 価 表	12

## 第一 入植あっせん地区、及びあっせん戸数

### 1. 入植地区

ブラジル国第二トメアスー移住地

### 2. 入植あっせん戸数

昭和43年度 40戸（内沖縄5戸）

（総入植予定数600戸のうち既入植数76戸）

### 3. あっせん範囲

全国を対象

（移住申込は常時受付）

### 4. 送出時期

随時

（但し、配船等の関係もあるので、応募状況等を勘案して別途お知らせする予定）

## 第二 応募者の資格条件

この移住地に移住するためには、ブラジルへ永住の目的で渡航する方であればなりません。そのほか、ブラジル政府側で入国するために必要とする条件があり、また移住者として、安定した生活をきずき得る基礎的な要件をそろえていなければなりません。具体的には、次の様な要件をみとすことが必要です。

- (1) 農業者又は農業経験を有する開拓意欲の旺盛な者であること。
- (2) 原則として、農業労働に従事することの出来る者が、家族中に3人（15才以上50才未満）以上いること。
- (3) 但し夫婦だけの場合であっても、他の条件（例えば資金）等から當農の能力が十分であると判断された場合は移住出来ることもあります。
- (4) 渡航前に土地代（一括払いの時は23万円、分割払いの時は、頭金2万3千円）を支払い、移住地に到着した時、生活農営資金として最低40万円以上所

持していること。

従って、上記金額とは、別に船中雑費、通関費用、現地交通費等を準備する必要があります。

(5) 家族の全員が心身ともに健康で、かつ次の疾病および身体的欠陥のないこと。

ア トラコーマ、結膜炎、各種伝染病、ライ病、結核性疾患、ガン、精神病、性病、アルコール中毒、麻薬中毒、遺伝疾患、心臓病、高低血圧症  
イ 不具廃疾、労働に支障ありと認められる身体機能障害（小児麻痺によるもの、手足、指の切断、先天性又は後天性畸型）  
慢性臓器疾患、腺病体質、盲聾啞、義眼、色盲

(6) 思想堅実で犯罪その他反社会的行為をしたことのない人。

### 第三 土地代及び支払条件

土地は事業団（現地機関 JAMIC Ltda. の代理）より分譲され、現地到着後、事業団現地支部の定める範囲内で、ロッテを選択することが認められています。

#### 1. 面積

1 区画（ロッテ）25ヘクタール

#### 2. 価格（1ロッテ、25ヘクタール当り）

- (1) 一括払い 230,000円
- (2) 分割払い 292,100円

#### 3. 支払条件

- (1) 一括払いの場合は、全額を渡航前に日本国内に於て事業団に支払う。但し、地権は後日ロッテ面積確定登記の上、現地でお渡しします。
- (2) 分割払いの場合は、頭金として23,000円を渡航前に、日本国内において事業団に支払い、残金は4年据置、3ヶ年均等年賦払いでブラジル国において事業団現地支部に支払うことになっています。なお年賦金は支払当日における外国為替公認銀行売相場で、換算して伯貨で支払うことになっています。

#### 4. 造成工事

移住地内の道路は、幹線道路（有効幅員8メートル）及び支線道路（有効幅員6メートル）とに分かれ、ともに事業団によって送出家族数に合せて道路造成及び測量がすすめられています。これらの道路は（橋梁暗渠も含めて）適当な時期に移住された方で結成する管理機関に引継がれ管理することになっています。

### 第四 移住の手続

#### (1) 申込書類

入植希望の方は、移住申込書その他の必要書類を作成し、事業団県事務所に提出します。

県事務所は、申込者が移住適格者と認めた場合、事業団本部に推せんします。事業団本部は選考の結果、適格と認められた方に対し、「適格通知書」を横浜、神戸移住センターから夫々県事務所を通じて交付します。

#### (2) 伯国極東選考事務所審査

移住者は、永住査証取得に際し、伯国極東選考事務所において、予め職業適性選考と医療選考（面接、身体検査を含む）を受けなければならないので、県事務所の指示に従い、所定の必要書類を作成して提出します。選考日については事業団より県事務所を通じ、別途通知します。

#### (3) 渡航手続

移住希望者は「適格通知書」受領後、旅券申請および査証申請の書類を、県事務所の指導により作成します。

#### (4) 移住センターへの入所および入所中の手続

ア 横浜または神戸移住センターは、査証をとりつける方に対し、同センターに入所する日時を県事務所を経由して本人に通知します。なお、移住センターへの入所は、乗船日の大体10日前までです。

イ 入所中次の手続が行われます。

なお、細目については別に連絡します。

##### a. 入国査証取付

- b. 渡航費の支給
- c. 土地分譲契約の締結  
(戸籍謄本1通、印鑑、印鑑証明書2通、収入印紙が必要)
- d. 携行金のドル交換
- e. 携行荷物の税関、申告、通関
- f. 支度金の支給、および集結旅費の補助
- g. 移住者輸送援護共済積立金の徴収

## 第五 支給金

### (1) 渡航費

日本の乗船港(横浜又は神戸)からブラジル国ベレン港までの規定の船賃(超過荷物運賃を除く)全額が、事業団より支給されます。

### (2) 支度金

移住者に対し、事業団から次の基準により支度費が支給されます。

12才以上	7,000円
3才以上12才未満	3,500円
3才未満	1,750円

### (3) 集結旅費補助

移住者に対して、現住所から乗船港までの旅客交通費の半額が、集結旅費補助として、事業団から支給されます。

## 第六 所用資金

### (1) 渡航手続費用

5人の標準家族で約87,000円位かかります。

(詳しくは当団県事務所て説明します)

### (2) 土地代

分割払いの場合は頭金 23,000円



一括払いの場合 230,000円  
 (いずれも渡航前に支払う必要があります。)

(3) 携行資金

現地入植時 70万円以上 (但し稼働力により異なる)

(4) 船中雑費 若干

(5) ベレン港から入植地までの諸経費

(家族数、携行荷物及びベレン滞在日数等によって異なるが5人家族として計算)

	グルセイロ
荷物運搬用トラック賃	10,000
宿泊費 5日×5名@6,000	150,000
ハンモック身廻品購入費	40,000
ベレン〜トメアス〜船賃 5名×@5,000	25,000
” 荷物運賃 8 m <sup>3</sup> ×12,000	96,000
外人登録費用	20,000
雑費	20,000
荷物通関手続料、税金等	200,000
計	561,000

(邦貨約 9万円)

(昭和41年11月30日現在)

## 第七 携行荷物と荷物運賃

### 1. 携行荷物

#### (1) 農機具類

イ 現在使用している農機具は、なるべく携行することが望ましく、特に耕耘機、揚水ポンプ、動力噴霧機、脱穀機、剪定用具、リヤカー、鋤、大工道具等は携行すると便利です。

ロ 但し、新品の農機具は、関税の対象となります。又、使用していた農機具でも例外的に課税されるものもありますから注意を要します。

(注) 農薬、脂料等は現地で購入することが出来ます。

(2) 自給用として、蔬菜類の種子を少量携行すると便利です。

(3) イ 衣服類、および布団、毛布、蚊帳などは、現在利用中のものをできる限り携行して下さい。

特に蚊帳、金網又はサラン網(網目1.8mm以下のもの)2~3枚(5m×6mもの)は必ず携行することです。

ロ 現在、使用中の台所用品は出来るだけ携行するのが望ましく、新規に購入する場合は、つとめてアルミ製品や、プラスチック製品を購入すると便利です。

ハ 地下足袋、ゴム長靴又は半長靴は農耕用として必要であり、サンダル等も家庭用として持参すると便利です。

ニ 雨具として、傘およびカッパ等は必要です。

ホ 家庭常備薬は携行することが望ましいです。

ヘ その他、自転車、ミシン(足踏)、トランジスタラジオ(オールウェーブ)等および醤油、缶詰、干魚、若布、昆布等も少量は携行すると便利です。

## 2. 携行荷物運賃

携行荷物の容積及び運賃は次の基準で扱われます。

### (1) 無料扱いの限度

大人	12才以上のもの	1人につき	60才
子供	11才~3才のもの	"	30才
幼児	2才~0才のもの	"	15才

### (2) 超過運賃

上記の制限量を超過した荷物は、1才につき495円の超過運賃を支払わなければなりません。

(注) 1才とは一尺立方の容積であって重量に関係ありません。例えば大型柳行李1個は約6才、石油缶1個は2才です。

## 3. 携行外貨

移住者の携行(交換)できる資金としては、1世帯につき最高5,000ドル

(1ドル約360円)までです。

但しそれ以上の携行を希望する場合は、日本銀行の特別許可が必要です。

#### 4. 上陸港での通関

携行荷物に対する関税検査はベレン港下船後、伯国税関吏によって行なわれます。

通関の際に農業移住者としての職業用具と認定されない機械器具、又は生活必需物品であっても同一の物品が多量の場合は、販売を目的とした商品とみなされ、税金や罰金が課せられます。その課税額は普通その物品の現地評価額に対し、約350%の税金罰金となりますから、その支払のため入植資金をなくしてしまうことが往々にしてあります。

(注) 無税通関した荷物であっても、もしそれを一般人に販売した場合は、これを輸入品として評価し、関税、販売税等その他の税金を追徴する伯国の法律があります。

課税対象になる物品について、Relação de Bens (引越財産証明書)を申請すると、無税になる場合もありますから、よく県事務所に相談して下さい。

## 第八 融 資

事業団は、入植後、営農資金を必要とする方に対し、その申請を審査の上事業団の定めた一定の基準によって現地融資を行なうことがあります。

又、伯国の銀行でも農業融資を行なっていますので、これを利用することも出来ます。

## 第九 第二トメアスー移住地の自然条件

### 1. 位 置

ブラジル国パラ州トメアス郡  
南緯 2度30分、西経48度18分  
標高 約11~30m (平均20m)

### 2. 地 形

移住地は全体として概ね平坦で、その間をイガラッペ（小川）が流れています。河川としてはアカラミリ河と、その支流があり、第2トメアスー移住地内には、クシューー川、イピランガ川が横断しております。

### 3. 地質と土壌

地質は、第三紀砂岩、あるいは粘板岩に属し、ラテライト系の肥沃度中程度の土壌で、表土は原始林のため比較的有機質に富み、暗灰色砂壤土で下層は黄色の第三期粘質層となっています。

地区を南下する程、肥沃といわれていますが、河川沿岸にそって一部砂礫地帯が分布しているところもあります。

### 4. 気 候

熱帯性の高温多湿気候であり、年平均28.3度、年間降雨量2,670.8mmです。日中は温度が上がりますが、夜間は温度が下がるので、比較的しのぎ易く乾期、雨期の別ははっきりしていて、乾期は6月～11月、雨期は12月～5月となっています。

3ヶ年平均 (1963～1965)

月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間	
気 候	最高極 C.	35.0	33.5	33.0	33.0	33.0	33.0	35.0	33.5	33.5	34.0	34.5	35.5	35.5
	最低極 C.	21.8	23.5	20.5	20.5	23.5	23.0	21.5	22.0	23.5	23.0	22.0	22.0	20.5
温 度	平均 C.	28.0	27.9	27.7	28.1	28.4	28.2	27.7	28.4	28.3	28.6	29.3	29.0	28.3
降 雨 量 mm	410.6	401.8	487.1	479.1	277.3	115.4	45.3	40.2	59.8	15.9	87.6	250.7	2,670.8	
降 雨 日 数	15.0	21.7	26.0	26.0	20.7	14.0	8.0	6.0	8.3	4.0	4.0	13.3	167.0	
湿 度 %	79.0	81.7	86.0	82.7	80.0	78.3	76.7	79.3	77.0	74.3	71.2	77.7	78.7	

(注) 気温の最高、最低極は平均でなく、3ヶ年間にあった気温の最高最低極を示す。

### 5. 植生および林相

全地域が原始林に覆われており、直径1m以上、樹高40～50mの巨木も散在しています。

住宅建築用及びピメンタの支柱に利用できるアカブその他の有用材も混じっ

ています。

## 第十 移住地の受入施設および一般状況

### 1. 概 況

第二トメアスー移住地内には移住者収容所組合事務所（共同販売所）等があり、その他受入れ施設、営農指導、ロッテの分譲、道路の造成を担当する事業団の事業所等もあり、既に現地から入植した人達と一緒に移住地建設をすすめています。隣接のトメアスー移住地は約400戸の邦人農家の移住地で、農家の中には、立派な住宅や、自家用車、トラクター等を所有し、移住地の中心地には病院、学校、商店、組合事務所等もあって、アマゾン流域第一の繁栄した移住地と称せられています。

このトメアスー移住地は、約30年前に創設された移住地で開拓初期は悪戦苦闘、開拓の辛酸を経て今日の繁栄が築きあげられたもので、全ての点で学ぶべきことが多いと思われますので、これら先輩移住者の指導を受けるのも良いと思います。

行政文化の中心地であるベレン市（人口40万）との距離は直線距離で約130km（船で行くと約270km、約東京～浜松間）で、ベレン市との交通は、アカラ川を遡行する船便（約13時間）が利用されています。移住地内の道路は、幹線、支線とがありますが、各人のロッテは必ずその一辺がどちらかの道路に面しています。どのロッテに入植するかは、現地到着後、入植計画に従ってその予定地区を案内しますから、その中から選ぶようになっています。

### 2. 衛 生

一時、マラリアが発生しましたが、州政府その他関係機関の努力により消滅の段階に至っています。

移住地の診療所には巡回診療用の器械も配置されており、日本人医師はベレン市を中心に各移住地の診療衛生指導にあたっています。

ベレン市には、総合病院、個人病院等があり、重病の場合は、軽飛行機（セスナ機）でベレン市まで輸送が出来るので医療については心配は少ないと言えますでしょう。

但し、開拓初期は、どうしても無理し勝であり、又気候の変化もあるので、十分な睡眠と食生活に充分注意して疲労の回復につとめ、また蚊や蠅の防除に

心がける等、保健衛生には特に留意して下さい。

### 3. 教 育

ベレン市には教育施設は整っておりますが、移住地内に小学校が開設されており、教師は伯国側より派遣されています。

なお、トメアース棧橋近くには中学校があります。

## 第十一 営農のすすめ方

当地方は、周知の如く、過去30年にわたる苦難の歴史を経て、漸くピメンタという換金作物によって経済が保たれている状況であります。

従って、これからの営農上の問題としては、

- (1) ピメンタと並び得る換金作物を研究開発して、単作農業の不安を解消すること。
- (2) ピメンタを主体として営農するにしても、競争相手国に打ちかつよう工夫をこらし、生産費の低減を極力はかること。
- (3) トメアス産業組合を盛りたてて品質の向上、規格の統一等を含め管理の向上をはかり、国際商品として有利な市場の獲得につとめること。
- (4) 家畜の導入、特に牧畜等による有畜農業をはかること。

等の対策を講ずる必要があります。

しかし、上記の諸対策中には、技術的、資金的には入植後、直ちに解決出来ないものもありますし、又入植後、生活基礎が固まらぬうちに多角経営を行うことは、かえって独立への基盤を歪める結果にもなり易いと思います。

従って、そうした観点から入植初期から5ヶ年位を、第一期の計画として、ピメンタ栽培に主力をそそぐことをおすすめしますが、入植後一挙に大量のピメンタの植付は多額の資金を必要とすることになりますし、一方少量づつの植付では完成に長期間を要し、その間の喰いつなぎにかえって苦勞すること等も考え、ピメンタの植付け初期には、自家労働の限度で適正面積の植付けを行ない、ピメンタが成圃になり収入があがるまでの喰いつなぎ期間を短縮することに努力し、経済的に先ず独立をし、第二期営農計画への基盤を開める方向にすすむことが望ましいと思われます。

## 第十二 生活の心構え

現地での生活は、日本のように歴史も古く、文明の発達した社会生活と異なり、原始林を切り開いていく、いわば原始的な生活に立ち戻って、新たな創造の生活に入る訳ですから、強い意思力と共に、重労働に耐え得る体力と苦難に打ち克って忍耐力が強く要求されます。

現地は何ととっても開拓の第一線です。生活は、自給自足を原則にして、なるべく現金支出をおさえ、あせらずに自分のペースで生活を始めることです。

食生活について言えば、入植当初はかなりの重労働を行うこととなりますから、なるべく日本食を少くして、早く現地食になれると共に、つとめて動物性蛋白質をとるように心掛けることが肝要です。

そして、一日も早くブラジル語を覚えて現地の風俗習慣をはじめ、一般事情をマスターすることが必要です。

言葉がわからないために現地労働者を使いこなせず粉争をおこしたり、當農が遅れたり、或いは日常の生活に現地不便を感じることもありますから、しっかりがんばって下さい。

[付 表]

## 物 価 表

(昭和41年11月30日現在)

(但し昭和42年2月8日から、為替相場の改訂によって換算レート)  
 (トはNcr \$ 3.20 (クルセイロ・ノーボ)=US \$ 1.00=360円)

この表に掲げた物価は主としてトマス産業組合の組合員に対する販売価格  
 でありますので、市価は概ね20~30%高となっております。

\*印は組合の取扱品目外のもので市価を表します。

以下の換算レートはNcr \$ 1.00 は約 113 円です。

品 名	単位	Ncr \$	円	品 名	単位	Ncr \$	円
(食糧品)				歯 ぶ ら し	1本	0.60	68
米 (上)	1kg	0.80	79	安全かみそり	5枚入	0.72	81
米 (並)	1kg	0.60	68	石油ランプ	1	3.00	339
砂糖	1kg	0.53	60	アラジン	1	18.00	2,034
塩 (上)	1kg	0.58	66	石油ランプ	1	60.00	6,780
小麦粉	1kg	0.96	109	ガスボンベ	1	250.00	28,250
食用油	1ℓ	2.10	2,373	ガスレンジ	4穴 天火付	0.36	41
粉 乳	1缶 400g	2.20	2,486	電 池	1	0.33	37
馬鈴薯	1kg	0.85	96	マ ッ チ	1箱 10ヶ入		
玉ねぎ	1kg	1.00	113	(嗜好品)			
乾 肉	1kg	2.80	317	(フィルター			
*卵	1ヶ	0.13	15	付)タバコ	1ヶ	0.60	68
*牛肉(並)	1kg	2.50	283	タバコ(並)	1ヶ	0.40	45
*豚肉(並)	1kg	2.50	283	ビ ー ル	1本	0.65	73
*成 鶏	1羽	5.00	565	ビ ン ガ	1本	0.50	57
ビラルクー (干魚)	1kg	2.15	248	ラ ム 酒	1本	2.50	283
(日用品)				シ ン	1本	3.00	339
化粧石けん	1ヶ	0.36	54	コ ー ヒ ー	1kg	0.50	
洗濯石けん	1ヶ	0.65	73	(衣料品)			
粉石けん	1箱 600g	1.40	158	作業ズボン	1	5.00~ 8.00	565~ 904
練歯みがき	1本 115g入	0.72	81				



品名	単位	Ncr S	円	品名	単位	Ncr S	円
作業シャツ	1	3.00	339~	二人引鋤	1	14.00	1582
		~6.00	678	鋤	1	14.00	1582
(燃料類)				台秤(100kg)	1	130.00	4520
ガソリン	1ℓ	0.27	31	剪定鋏	1	9.70	1096
石油	1ℓ	0.24	26	(農機械)			
軽油	1ℓ	0.23	25	トラクター	1	12,000.00	1356,000
(肥料)				50HP			
尿素	1kg	0.42	47	発動機	1	1,350.00	152,550
石灰窒素	1kg	0.28	32	(ヤンマー)			
熔成憐肥	1kg	0.37	42	発動機	1	1,530.00	172,890
重過磷酸石灰	1kg	0.36	41	(ヤンマー)			
塩化加里	1kg	0.30	34	NT85F	1	1,810.00	204,530
複合肥料	1kg	0.31	35	発動機	1	1,810.00	204,530
綿実粕	1kg	0.18	20	(ヤンマー)			
(農具)				NT9.5F			
テルサード	1	3.50	400	ハンドトラク	1	4,800.00	542,400
(山刀)				ター(グボタ)			
マッシュャード	1	5.00	565	トウミ(人力)	1	180.00	20340
(芥)				(農薬)			
エンシャード	1	5.00	565	(ウスブルン)	1kg	19.50	2,204
(鋏)				ネアンチーナ			
スコップ	1	3.50	396	(ホリドール	1kg	7.15	808
播種機	1	9.50	1074	粉剤)			
鎌	1	2.75	311	アラビント	1kg	3.40	384
				クアズール			
				(ホリドール)			
				ロシヤー	1kg	3.40	384
				トウクス			

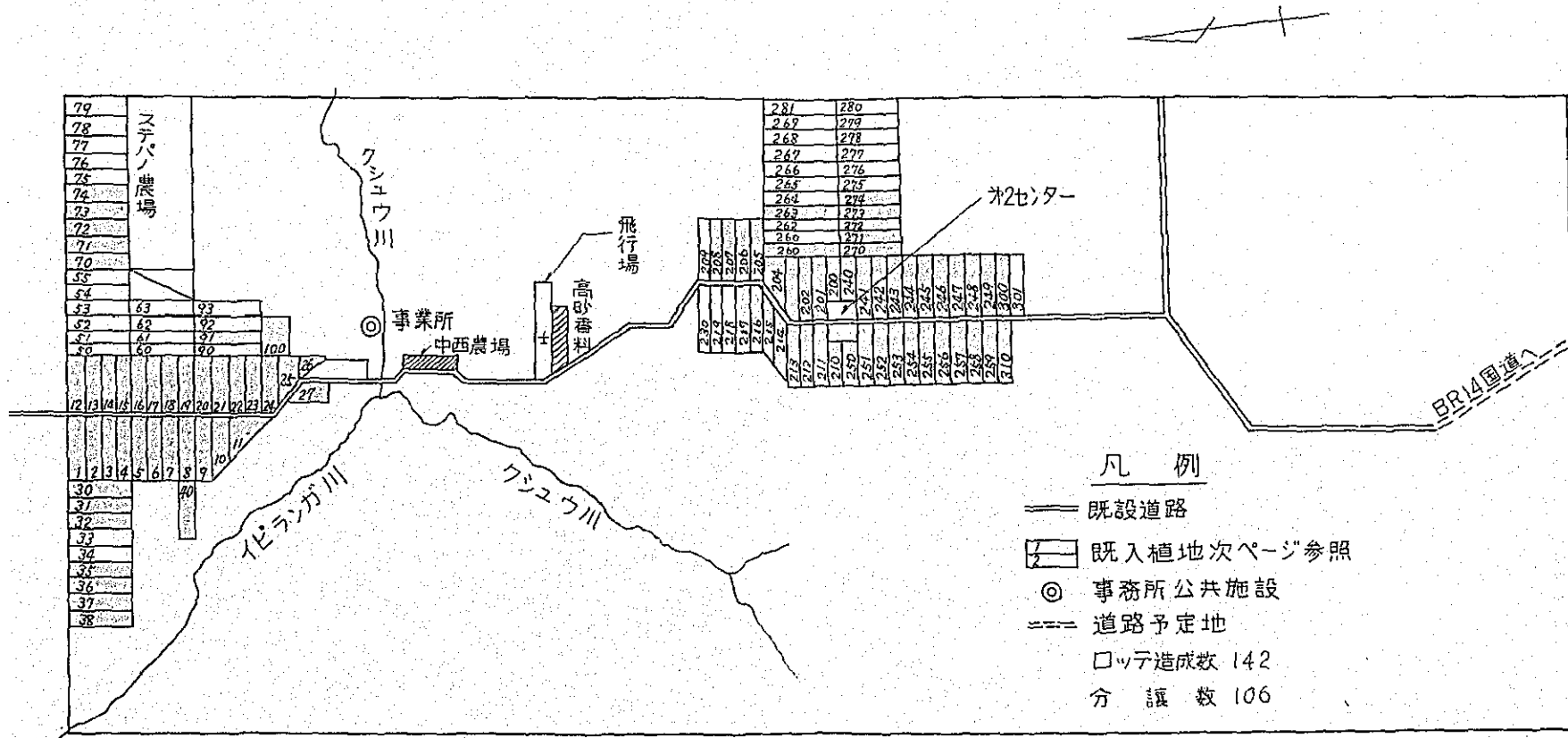
## 第二トメアスー入植者名

(昭和43年3月現在)

契約者氏名	ロツテ番 号	契約年月日	出身県	契約者氏名	ロツテ番 号	契約年月日	出身県
中見川 博	I-32	38. 8. 28	栃 木	後藤 末広	C-204	42. 6. 26	熊 本
菊地 稔	37	"	"	高野 豊	207	"	宮 崎
富田 昭一	30	"	"	海野 親生	214	"	"
室井 洋	35	"	"	寺原 求	215	"	"
鳴瀬久左衛門	36	"	青 森	吉田 要	208	"	"
尾野 誠督	31	"	"	稲沢 平	216	42. 9. 25	長 崎
沢田 美吾	72	39. 1. 30	神奈川	久富木 実	217	42. 9. 28	東 京
中西 健次	C-1	39. 3. 23	東 京	高原 信義		43. 2. 23	愛 知
平水 重行	I-74	39. 5. 28	宮 崎	山下 美津雄		"	宮 崎
松本 清	I-4	39.12.24	福 岡	久保田 幸信		"	"
木村 正栄	C-258	41. 3. 25	青 森	久保田 忍		"	"
石井 和雄	248	41. 3. 29	宮 崎				
岸本 一	247	"	"	[現地契約]			
西田 興吉	246	"	"	大島 宏生	I-1	38. 8. 23	群 馬
中西 健次	C-1・B	41. 3. 26	東 京	阿部 隆次郎	2	"	秋 田
山根 信俊	244	41. 5. 31	"	武藤 徳	3	38. 7. 30	福 島
西村 芳信	254	41. 7. 21	宮 崎	高屋 留吉	5	38. 8. 2	青 森
大西 邦光	243	"	香 川	谷地村 清志	6	38. 8. 3	"
海江田 栄徳	245	"	愛 知	笹原 富雄	7	38. 8. 4	山 形
中尾 久待	242	"	山 口	矢 島 繁	8	38. 8. 5	栃 木
工藤 公論	250	41. 7. 22	青 森	舟木 良治	9	38. 8. 12	秋 田
工藤 昭南	251	"	"	原口 十一	10	33. 8. 14	熊 本
二ツ森 一次	252	"	"	中田 英昭	11	38. 8. 12	青 森
清水 二六之	244	41. 7. 26	"	伊藤 広	12	38. 8. 19	"
佐々木 善作	210	42. 2. 20	富 山	仁和 機次郎	13	38. 8. 20	"
安積 幸哉	206	"	兵 庫	坂本 藤吉	14	"	"
小野 和親	205	"	宮 崎	大島 孫太郎	15	38. 8. 21	秋 田
駒山 政好	271	"	"	山本 宏巳	16	"	佐 賀
岡田 忠雄	241	"	広 島	大貫 光三	17	"	山 形
羽田 守	203	"	福 島	太田 幸一	18	"	青 森
青木 収	212	42. 2. 28	北海道	鎌田 吾久三	19	"	"
竹田 兵吉	200	"	東 京	高橋 新作	20	"	山 形
木村 栄	255	"	青 森	矢内 徹衛	21	38. 8. 22	青 森

契約者氏名	ロツテ番 号	契約年月日	出身県	契約者氏名	ロツテ番 号	契約年月日	出身県
佐々木寅五郎	I-22	38. 8. 22	秋 田	竹 田 雄 二	272	42. 2. 4	東 京
長 浜 栄 三	23	"	青 森				
永 田 恭 平	24	"	"	[昭和42年度]			
岩 下 謙 次	25	38. 8. 23	栃 木	山 田 安 通	C-260	42.11.16	東 京
関 弘	26	38. 8. 24	"	佐々木 清勝	211	42.11.22	東 京
エリザベス・ サンタース	64	38. 3. 20		前 田 昌 宣	263	42.12.26	宮 崎
ホーム	65						
	80						
	89						
高 野 昌 治	38	39. 1. 9	宮 城				
関 弘	100	38. 9. 2	栃 木				
山 野 至 弘	C-202	40. 7. 6	"				
菅 谷 常 雄	201	40. 7. 23	"				
下前原 晃	I-71	40. 6. 10					
下前原 輝男	70	40. 6. 10					
神之園 主税	73	"					
平 賀 練 吉	91	"					
伊 藤 清	54	41. 3. 16	青 森				
佐々木 二郎	C-240	41. 3. 31	秋 田				
平 形 広	300	"	群 馬				
信 沢 輝 三	257	"	"				
辻 野 歳	249	"	大 阪 府				
勝 山 巖	253	"	茨 城				
坂 上 馨	213	"	宮 崎				
椿 精 一	259	"	福 岡				
片 所 義 雄	210	"	群 馬				
中 西 健 次	15	41. 8. 31	東 京				
矢 島 繁	I-40	41. 9. 1	栃 木				
佐々木 敬雄	C-270	41.10.18	"				
トメアス 産業組合	I-27	41.10.12					
椿 日 吉	C-310	41.10.31	福 岡				
南 部 尚	273	42. 2. 4	千 葉				

# 第 2 トメアス移住地



# カニトメアスー位置図

